

作成日 : 2014 年 6 月 20 日

## 安全データシート

## 1. 製品及び会社情報

製品名 : カリグリーン®  
 会社名 : OAT アグリオ株式会社  
 住所 : 東京都千代田区神田小川町 1-3-1 NBF 小川町ビルディング 8 階  
 担当部署 : 品質保証部  
 電話 : 088(684)0220  
 FAX : 088(686)7055  
 緊急連絡先電話番号 : 03(5283)0262(事業推進部)  
 整理番号(SDS No.) : OAT0143-5

## 2. 危険有害性の要約

## GHS 分類

健康に対する有害性  
 急性毒性(経口) 区分外  
 急性毒性(経皮) 区分外  
 皮膚腐食性・刺激性 区分外  
 眼に対する重篤な損傷・眼刺激性 区分外  
 皮膚感作性 区分外

環境に対する有害性  
 水生環境急性有害性 区分 2

\* 上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない

## GHS ラベル要素

絵表示 なし  
 注意喚起語 なし  
 危険有害性情報 水生生物に毒性 H401  
 注意書き

## 【安全対策】

必要な時以外は環境への放出を避けること。(P273)

## 【廃棄】

内容物／容器は知事等の許可を受けた産業廃棄物処理業者に処理を委託する(地方公共団体が処理を行っている場合には、地方公共団体に委託すること。(P501))

## 3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別 : 混合物  
 化学名(又は一般名) : 炭酸水素カリウム水溶剤(殺菌剤)

成分	含有量(%)	CAS No.	化審法番号	安衛法番号
炭酸水素カリウム	80	298-14-6	1-153	1-153
シリカ(非晶質)	<10	112926-00-8	1-548	1-548
界面活性剤等	残量	-	-	-

## 4. 応急措置

## 吸入した場合

空気の清浄な場所に移動させる。必要があれば医師の診断を受ける。

## 皮膚に付着した場合

衣服等を脱ぎ、製品が付着した部分を流水で洗い流してから、石鹼を用いて十分に洗浄する。皮膚に異常が認められる場合には医師の診断を受ける。汚れた衣類は再使用前に洗濯しておく。

## 目に入った場合

直ちに流水にて 15 分間以上の洗眼を行う。

眼科医の処置を受ける。

## 飲み込んだ場合

直ちに水で口腔内を洗浄する。医師に、容器又はその表示を示すか化学名を伝える。  
意識があれば多量の水を飲ませ、直ちに医師の手当を受ける。

## 5. 火災時の措置

## 消火剤

火災の状況に応じた適切な消火剤を使用する。

## 火災時の特定危険有害性

熱により分解し、炭酸ガスが発生する。

## 特定の消火方法

速やかに容器を安全な場所に移すか、もしくは内容物を他の安全なタンクへ移送する。

## 消火を行う者の保護

必ず呼吸保護具及び火災の状況に応じた保護具を着用する。

## 6. 漏出時の措置

## 人体に対する注意事項

適切な保護具(暴露防止措置参照)を着用して作業する。粉塵の吸入は避ける。眼や皮膚との接触は避ける。

## 環境に対する注意事項

粉塵の発生を避け、漏出物が直接河川や下水に排出されないように注意する。

## 除去方法

速やかに着火原を取り除くとともに、漏洩区域を関係者以外立ち入り禁止にする。

少量の場合には、ウエス等で拭き取るか、吸引式の掃除機で除去する。

大量に漏洩した場合には、漏洩物を湿らせて粉塵の発生を最小限にして、可能な限り回収する。  
残渣はウエス等で拭き取るか、吸引式の掃除機で除去する。容器・タンクから流出していれば、流出防止処置を急いで行う。

漏洩物には異物等が混入している可能性があるため元の容器には戻さず、適切な容器に回収して破棄する。

## 7. 取扱いおよび保管上の注意

## 取扱い

本品の取扱い時には、暴露防止のために適切な保護具(暴露防止措置参照)を着用する。

粉塵の吸入、皮膚や眼への接触は避ける。作業は粉塵を発生させないように注意する。

作業後は、必ずうがい、手洗い、洗眼をする。

的確な工業衛生管理に則った換気及び清掃を実施する。

作業着は再使用の前に洗濯する。

## 保管

直射日光を避け、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管すること。長期保存は劣化を生じるので、避けること。

## 8. 暴露防止及び保護措置

## 設備対策

屋内で使用する場合には、作業上の換気を行う。

## 管理濃度および許容濃度

化学名又は一般名	管理濃度(厚生労働省)	許容濃度(産衛学会)	ACGIH
炭酸水素カリウム	-	-	-
シリカ	0.4 mg/m <sup>3</sup> (遊離珪酸含有率 5%の鉱物の粉塵として)	【第2種粉塵】 吸入性粉塵 1 mg/m <sup>3</sup> 総粉塵 4 mg/m <sup>3</sup> 【第3種粉塵】 吸入性粉塵 2 mg/m <sup>3</sup> 総粉塵 8 mg/m <sup>3</sup>	-

**保護具**

呼吸器用の保護具	: 防塵マスク
手の保護具	: ゴム手袋
目の保護具	: 側板付普通めがね
皮膚及び身体の保護具	: 長袖の作業衣

**9. 物理的及び化学的性質****物理的状态**

形状	: 粉末
色	: 類白色
臭い	: 特異臭を有する
pH	: 8.46

物理的状态が変化する特定の温度/温度範囲 :

沸点	: なし/有効成分
融点/凝固点	: なし/有効成分
分解温度	: 100°Cで分解を始め、200°Cで二酸化炭素と水を失って炭酸カリウムとなる。/有効成分
引火点	: データなし
発火点	: データなし
蒸気圧	: なし/有効成分
蒸気密度	: データなし
見掛け比重	: 1.056

**溶解性**

水に対する溶解性	: 600g/L(60°C)/有効成分
オクタノール/水分配係数 (log Pow)	: データなし
その他のデータ	
爆発特性	: データなし

**10. 安定性及び反応性****安定性**

正常な状態で保管している場合には安定。

**避けるべき条件**

高温

**避けるべき材料**

酸化剤

**危険有害な分解生成物**

100°C以上で分解し、二酸化炭素を発生する。  
酸と反応して二酸化炭素を発生する。

**11. 有害性情報****急性毒性**

経口 (LD <sub>50</sub> カットオフ値)	: >2500 mg/kg (♀ラット)
経皮 (LD <sub>50</sub> )	: >2000 mg/kg (♂♀ラット)

**皮膚腐食性・刺激性**

軽度な刺激性あり(ウサギ)

**眼に対する重篤な損傷・眼刺激性**

軽微な刺激性あり(ウサギ)

**感作性**

皮膚感作性なし(モルモット)

## 12. 環境影響情報

## 生態毒性

LC <sub>50</sub> (96 時間)	: 8.2 mg/L(コイ)
EC <sub>50</sub> (48 時間)	: 2.5 mg/L(オオミジンコ)
ErC <sub>50</sub> (0-72 時間)	: 1.7 mg/L(緑藻類)

## 13. 廃棄上の注意

本品を直接排水や河川等に廃棄してはならない。  
 大量に廃棄する場合には、製造業者に連絡する。  
 少量の場合は、中和、分解等の除害後希釈放流する。  
 知事等の許可を受けた産業廃棄物処理業者に処理を委託する(地方公共団体が処理を行っている場合には、地方公共団体に委託する)。

## 14. 輸送上の注意

## 国連番号、国連分類

番号 : 非該当  
 クラス : 非該当

## 輸送の特定の安全対策及び条件 :

取扱い及び保管上の注意の項の記載による他、化学物質に関する一般的な注意事項による。  
 容器に漏れ等のないこと及び近傍に火気のないことを確認して積載する。  
 落下や転倒等の防止策を講じるとともに、直射日光や雨を遮断するための措置を講じる。  
 容器の破損等を防ぐため、乱雑な取扱いを行わない。

## 15. 適用法令

農薬取締法	登録番号 第 18358 号
肥料取締法	登録番号 生第 86632 号
毒物及び劇物取締法	非該当
労働安全衛生法	名称等を通知すべき有害物 No.312 シリカ
化学物質管理促進法(PRTR)	非該当
消防法	非該当
火薬類取締法	非該当
船舶安全法	非該当
高圧ガス取締法	非該当

## 16. その他の情報

## 参考

- 1) MSDSnavi (日本ケミカルデータベース株式会社、2014)
- 2) 農薬抄録 カリグリーン
- 3) OAT アグリオ株式会社保有データ

## 連絡先

製品に関する問い合わせ先: コールセンター0120-210-928

中毒に関する緊急問い合わせ先: 公益財団法人 日本中毒情報センター

中毒 110 番	一般市民専用電話 (情報提供料: 無料)	医療機関専用有料電話 (情報提供料: 1 件 2000 円)
大阪 (365 日、24 時間対応)	072-727-2499	072-726-9923
つくば (365 日、9~21 時対応)	029-852-9999	029-851-9999

#### 責任の限定について

安全データシートは、化学製品を安全に取扱うための参考情報として、当該製品を取扱う事業者  
に提供されるものであって、安全を保証するものではありません。また、ここに記載された数値は、  
規格値や品質を保証する数値ではありません。

この安全データシートは、一般に入手可能な情報及び自社情報に基づいて作成しておりますが、  
本品(当該製品)に関する全ての情報が網羅されているわけではありません。

また、記載内容は当該製品の一般的な取扱いについて記載したものです。

従いまして、当該製品を取扱う事業者は、個々の取扱い等の実情に応じた適切な処置を講ずるこ  
とが必要であることを理解した上で、この安全データシートを活用されるようお願いいたします。